

【月刊】キリスト教書評誌

本のひろば

ISSN 0286-7001

一般財団法人キリスト教文書センター
1957年7月17日第三種郵便物認可
2019年6月1日発行(毎月一回発行)第738号

June
2019 6

● 出会い・本・人

出会いは必然 水口 洋

● 特集「トランプ現象」を知るためには

この三冊! 大宮有博

● 本・批評と紹介

朝岡 勝著 教会に生きる喜び 加藤常昭

ペーター・ライヘンバツハ監督

DVDカール・バルトの愛と神学 佐々木 潤

塩谷直也著 視点を變えて見てみれば 大嶋重徳

日本キリスト教団出版局編

説教黙想アレタイア 死に勝つ慰め 岩崎 謙

鎌野善三著 3分間のグッドニュース「歴史」 大頭真一

新免 貢著 「新」キリスト教入門(1) 島園 進

牧田吉和著 改革派教義学7 終末論 長山道

住田博子著 カルヴァン政治思想の形成と展開 千葉 眞

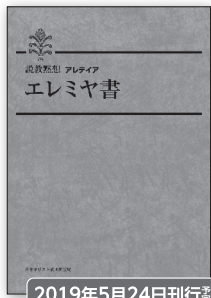
佐原光児著 希望する力 深田未来生

館 正彦著 西郷隆盛とキリスト教信仰 真壁 廠

既刊案内

書店案内

説教黙想 アレティア エレミヤ書

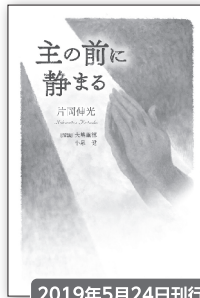


2019年5月24日刊行

◆B5判並製・312頁・4320円
季刊『説教黙想 アレティア』92
〜95号に連載された、連続講
解説教黙想の合本。預言者エ
レミヤの言葉から、聖書のみ
言葉の真理を導き出す。

主の前に静まる

片岡伸光 大嶋重徳/小泉 健 解説



2019年5月24日刊行

◆四六判並製・128頁・1296円
「詩篇をゆつくり読む」など34
の滋味豊かなエッセイによつ
て、読者を主の前に静まるこ
とへと導く。幻の名著に、新
たな解説を付して復刊。

イベントのご案内

桃井和馬

(写真家、ノンフィクション作家)

写真展



和解への祈り

入場無料

2019.

6/7 金 — 12 水 12:00~18:00
(最終日は17:00まで)

早稲田スコットホールギャラリー

東京都新宿区西早稲田2-3-1

主催/公益財団法人 早稲田奉仕園、日本キリスト教団出版局

桃井和馬
トークイベント

ギャラリートーク

- 日時 2019年6月7日(金)
17時15分~18時
- 会場 早稲田スコットホール
ギャラリー
- 参加費 無料(申込不要)

講演会 「和解への祈り

~地球の上を歩きながら考えたこと~

- 日時 2019年6月8日(土)
18時~20時
- 会場 早稲田奉仕園
スコットホール
- 参加費 500円(要申込)

サイン会も予定

お申込みは
WEBで



*当日、会場にて関連書籍を購入の方は無料

関連企画

シリーズ〈和解の神学〉 完結記念

サイン会も予定

《和解》—— 教会が教会であり続けるために

- 日時 2019年6月7日(金)
18時30分~20時15分
- 会場 日本キリスト教会館4F
A・B会議室
- 参加費 500円(申込不要)

*当日、会場にて関連書籍を購入の方は無料

第1部

平野克己氏(日本基督教団代田教会牧師) 講演会

第2部

平野克己氏 & 桃井和馬氏 対談



出会いは必然

水口 洋

四十数年の間キリスト教教育の現場に携わってきて実感するのは、「出会いは必然」ということだ。人は自分が関心を持つ世界としか出会えない。だから私たちがどこに心を傾けているかが問われるのだ。今までに本を何冊か出版したが、その応答は読者の関心領域に集中していた。自分の読書体験でも同じことが言えるが、本との出会いとは、自分が考えている事を的確に言語化し説明している文章に出会った時、良い本と巡り合ったと思うのだ。

本でも自然でも思想でも、自分に関心あるものと出会っていく。道端の雑草が愛おしい名前を持つ花に変わるの、自分の心の方向性が変わるからであり、何に興味を示し、考えを深めるかで、出会うものは違ってくる。神の創造の多様性を感じるには、神の造られた世界への関心を深めることだ。そのことにより世界の彩りは豊かなものになっていくのだろう。

人との出会いも同じだと思う。自分が意識している世界の

住人と私たちは出会っていく。自分の準拠枠の中で人を見定め、既存の知識や情報で人を判断しようとする。高度に情報化されデータに基づいて人を評価するこの社会の中では、五感そしてその中心にある直感力を働かせて、生身の人間と出会うことが難しくなっているのではないか。神が造られた世界と人間の多様性を深く知らなければ、キリスト教教育は、固有の人格を持つ人間の成長を支援していくことはできない。

教師として心がけてきたことは、自分の思い込みや先入観、成績や過去の記録だけで生徒を判断しないということだった。目の前の生徒の存在そのものを、ありのままに見て向き合えるかが問われ続けた日々であったと思う。そして長い間人と接する職業についてきたが、生徒のみならず不思議な導きの中で出会うことのできた多くの人たちの存在が、私の教師生活の財産であり、私の幸いであったと思っている。

(みずぐち・ひろし 玉川聖学院理事・前中高等部長(校長)。国際基督教大学等非常勤講師)



「トランプ現象」を知るためには ▼この三冊！

大宮有博

(おみや・ともひろ…関西学院大学法学部教員)

スパイク・リーの『ブラック・克蘭ズマン』を観た。この映画には、社会を批判し、抑圧されている人々に解放への道筋を示し、エンパワーする「解放の力」があった。またこの映画は、「トランプ現象」とは何か、それは今

に始まった現象なのかといった問いにも答えてくれている。トランプ現象とは、ニユースを信じるな、私の流す情報だけが本当だというところから始まる。そして人々を分断し、分断した人々の間に偏見や疑い、恐怖心を植え

付け、憎悪させる。そして、一方は他方に汚名を着せ、人々を扇動して排除する。その先にあるのはリンチや、ロコースト、ジェノサイドである。「白人福音派」の八一%が二〇一六年の大統領選挙でトランプに票を投じた。福音派とは自分たちの素朴な信仰を世俗化や近代化から大切に守りたいと願い、そしてその信仰を世界に伝えたいと真剣に考える人々のことである。アメリカでは、白人キリスト者だけでなく、アフリカンアメリカンやヒスパ

ニックのプロテスタントのキリスト者の多くが、自分たちは福音派だと考えている。日本にも福音派の仲間がたくさんいる。「福音派」と「白人福音派」は使い分ける必要がある。ただし、「私の素朴な信仰を守りたい」という願いは、注意しないと、聖書を用いて自分のうちにある差別を正当化することになってしまう。例えば「聖書にはこう書いてあるから……」というお決まりのフレーズを用いて、白人の優位性と純粋性を主張したり、女性に対する差別やLGBTの権利を奪うことを容認したりしてしまう。

白人福音派は、トランプが同性婚を合憲とする連邦最高裁判決を覆し、中絶禁止を維持し、「私たちの素朴な信仰」を守ってくれると信じて票を入れた。彼らはトランプに「白人福音派の信仰による地上の国」アメリカを再び偉大に！という希望を託してしまった。

森本あんり『アメリカ・キリスト教史』は現在手に入れることのできるアメリカ・キリスト教史の教科書の一つだ。この本でアメリカ・キリスト教の概観をつかみ次に進もう。

『ブラック・克蘭ズマン』は、アフリカンアメリカンに対するリンチが増加するきっかけとなった映画『国民の創生』を断片的に見せる。映画には差別と暴力を正当化する恐ろしい利用法もあるということを示すためだ。ウイilson大統領はこの映画をホワイトハウスで鑑賞し絶賛した。『ブラック・克蘭ズマン』に出てくるKKKはケネディを罵り、ニクソンを支持した。ウイilson大統領の父は長老派の牧師で、彼自身も長老派の模範的な信徒であった。それに対してケネディ大統領は模範的なカトリックの信徒だった。ニクソン大統領に助言を与えていたのは、ピリー・グラハムだった。

栗林輝夫『アメリカ大統領の信仰と政治』

『政治』を読むと、これまでの大統領が宗教の影響をどう受けてきたかがわかる。特にレーガンとジョージ・W・ブッシュの章をていねいに読むと、トランプ現象の下地にあるものが見えてくる。レーガンも宗教にはほぼ無関心であったが、保守的なキリスト者から圧倒的な人気を誇った。宗教右派に率いられた福音派に支えられてレーガンは二選した。彼はソ連を「悪の帝国」、共産主義を「狂気」と呼び、それらと徹底的に戦うことを宣言し、愛国的キリスト者を鼓舞した。それと同時に彼は福音派に中絶を規制し、学校での祈禱を復活させることを約束した。しかし、その約束は守られなかった。

ホワイトハウスに誠実と信頼を回復すると言って当選した熱心なキリスト者のジョージ・W・ブッシュはイラン・イラク・北朝鮮を「悪の枢軸」と呼ん

で軍事増強を行い、泥沼のイラク戦争を開始した。彼も福音派に中絶や同性婚問題の議論を終わらせると約束したが、その約束を果たせなかった。

こう見るとトランプ政権が中国を非難するのはレーガンやブッシュの真似だということがわかる。為政者は人を動かすために「悪」を必要とする。

他方、トランプはレーガンやブッシュと違って、白人福音派との約束を着々と守っている。例えば、「ジョンソン修正条項」の撤廃、連邦最高裁判事の人事、在イスラエルアメリカ大使館のエルサレムへの移転などである。白人福音派はレーガンやブッシュに失望させられてきた。しかし今のところトランプは彼らを失望させていない。もしかしたらトランプは白人福音派の支持を得ながら、ペンスに政権を譲る。もしリベラルの側が真剣にトランプと闘う気があるなら、超長期戦を闘う覚悟が必

要だ。

いや、そうとも言い切れない。白人福音派の高齢化とそれに伴う勢いの減少も看過できない。このまま行くと白人福音派はトランプに振り回された後、政治への影響力を完全に失う可能性もある。

ところで、ヒーロー映画の方の『ブラックパンサー』の中でワカンダの若き国王は、「賢者は橋を架けるが、愚か者は壁を作る」と演説した。「愚か者」はパレスチナで、そしてアメリカとメキシコの国境で壁を作る。壁の外で苦しみを受けられたイエスの「神の国」の福音は、壁の外で貧困と暴力に苦しむ人々とともに憎悪の壁を乗り越える橋を作り、「もはや貧しい者はいない」共同体を築く使命に私たちを招く。

ナウム・アティーク『サビールの祈り パレスチナ解放の神学』にはその使命を果たすための知恵が込められて

いる。本書は昨年出版されたキリスト教書の中の最も重要な本である。

アティークによると、捕囚後の預言者は伝統的な律法主義的神理解によって過去を理想化して保持しようとする立場（エズラやネヘミヤなど）と、未来を見据えて他者を包括するダイナミックな神理解を示す立場（エゼキエルなど）の間を揺れ動くものの、しだいに包括的な神理解へと向かう。その旧約聖書の神学的頂点がヨナ書である。そこに示された神は、全ての人々を包括する愛に満ちた、正義と解放をもたらす方である。この神は全ての民を一つの民族が土地を独占することを許さない。

そしてイエスは幼少時代を難民として過ごされ、不当な裁判で死刑判決を受けた。そのイエスの生涯の働きは排他性を拒絶し、包括性を強調するもの

だった。イエスは人種的偏見と差別を明らかにし、それらと対決した。

白人福音派は聖書を用いて自分たちの中にある差別意識を正当化し、トランプやペンスは聖書を用いて白人福音派をからめとる。イエスの示された愛を鍵にして聖書を読めば、このようなトランプ現象を跳ね返して、正義を実行することができる。

アティークは、キリスト者の行動の核心に正義を置く。正義には全ての人を包み込む愛が必要である。そして正義は憐れみによって実行されねばならない。正義が回復された後に、和解と赦しをもたらされて、行動は完了する。

『サビールの祈り』は七〇年以上正義のために闘ってきたキリスト者の知恵の結晶である。そしてトランプ現象との超長期戦を闘うキリスト者に粘り強く闘うための知恵を授ける。本書は「聖書的」とあるという点で、福音派

の方にもそうでない方にもお薦めする。

トランプ現象はアメリカだけではなく、日本でも、ヨーロッパでも起きていく。私たちもぼんやりしていると、気づかないうちに壁を作る愚か者になっ

てしまう。これがトランプ現象の怖いところである。キリスト者は貧困、差別、排除を生きる人々の正義を自らの正義として、愚か者が築いた壁の外で苦しまれたイエスの愛を解釈の鍵とし

てしまふ。これがトランプ現象の怖いところである。キリスト者は貧困、差別、排除を生きる人々の正義を自らの正義として、愚か者が築いた壁の外で苦しまれたイエスの愛を解釈の鍵とし

て聖書を読む。そのキリスト者の助けとなる本がこれからもたくさん出版されることを願っている。

（おみや・ともひろ 関西学院大学法学部教員）

『アメリカ・キリスト教史』

理念によって建てられた国の軌跡

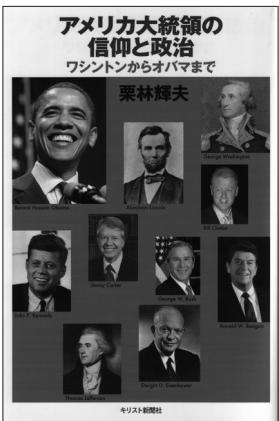
森本あんり：著
新教出版社
2006年刊
四六判176頁
1700円（税別）



『アメリカ大統領の信仰と政治』

ワシントンからオバマまで

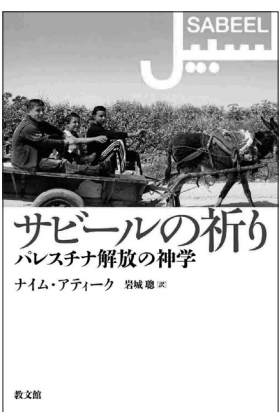
栗林輝夫：著
キリスト新聞社
2009年刊
B6判307頁
2000円（税別）



『サビールの祈り』

パレスチナ解放の神学

ナウム・アティーク：著
岩城 聡：訳
教文館
2019年刊
四六判266頁
2200円（税別）



すこやかな教会論

〈評者〉加藤常昭



教会に生きる喜び
牧師と信徒のための教会論入門
朝岡 勝著

力作である。生き生きとした文章である。最近、存在と言葉という関わりを考えているが、著者の存在が語り続けているような書物である。喜びのパスペクティブにおける教会論であるが、教会を語ることを著者自身が喜んでいる。これは貴重なことである。

著者はひとりで書いてはいない。この書物が生まれたのは、毎月一回集まる福音派の牧師たち（神学者たち）の共同討論からであり、更に草稿も友人たちによって検討されたと言う。日本伝道の第一線で生きる同志たちとの対話から生まれた書物なのである。

著者は牧師の息子である。父は開拓伝道の労苦に生き、若くして地上の生涯を終えている。著者は父の遺志を継ぐように東京基督教短期大学に続き、神戸改革派神学校でも学んでいる。やがて東京都板橋区の日本同盟基督教団徳丸町キリスト教会の牧師となっている。二〇一五年、同教会は

五〇周年記念誌『御国を指す民として』を刊行したが、それは、言ってみれば教会で語られる神の言葉に対する応答としての信徒の声を上手に編集し提供した書物である。そしてこの信徒たちの声が、本書においても聞こえてくる。冒頭から信徒との対話が紹介される。更に言えば書物全体が信徒との対話であるとも言えるし、もっと強く言えば教会員たちとの共著とも言える趣がある。

実践神学は教会の実践を論じる。本書は、教会とは何かを問うことから始まり、教会はみ言葉に生きる共同体であることを確認した上で、礼拝、説教、洗礼、主の晩餐、伝道、教会を建てる信仰（三要文、祈り、会議など）、コイノニア、ディアコニア、と語り進める。実践神学が論じ、教える諸項目である。つまり本書は実践神学概論であり、その教科書となり得るものである。ただし叙述はここで終わらず、「八月、国会前で」という文章から始まる「嵐の

中の教会」と題する第十章、「旅する教会」という題の第十一章、教会に生きる喜びを語る終章で終わるのである。

実践神学概論と言ったがドイツに始まる同種の書物のように、多くの学問的引用と緻密な理論で埋められているのではない。例えば主日礼拝を終えて教会員の有志を募り、ともに国会議事堂前に行き、デモに参加し、帰って夕拝に臨んだ体験を語る。理論的であるより経験的である。牧師として実践に密着する神学を語る姿勢を一貫しているのである。しかし、最初の教会論などはまず福音主義教会が生んだ信仰告白諸文書をこれでもかと多数併記し、そこに神学理論の根拠を求める。もちろん聖書の引用も重ねられる。聖書的であるとともに、正統の教会の信仰に生きる姿勢は

明瞭である。ニカイア信条、ハイデルベルク信仰問答、バールメン宣言についての著書が続けて出した著者らしい。浅薄に考えるひとは福音派らしくないと思うひともあるかもしれないが、キリストの教会に真剣に生き、神学的に筋を通しつつ戦おうとすれば当然の歩みなのである。私にとっ

ては共感するところ多い労作である。
著者も願うように牧師と信徒がともに本書を精読し、教会の現状を打破し、新しい宣教の戦いを始めることができれば、と老人の私も願う。
(かとう・つねあき＝神学者)
(四六判・二四四頁・本体一八〇〇円＋税・教文館)

シリーズ和解の神学《最終回配本》全3巻完結 赦された者として赦す

2019年
5月24日
刊行予定



G・ジョーンズ／C・ムセクラ 岡谷和作／藤原淳賀 訳
ルワンダ大虐殺で父親と親族を亡くし、
アフリカで和解の働きに取り組みる牧師
ムセクラと、和解の神学を説くジョー
ンズが、赦すことの重要性を考える。
四六判・160頁・1944円

シリーズ好評発売中
暴力の世界で柔和に生きる
四六判・152頁・1,728円
すべてのものとの和解
四六判・216頁・2,160円

愛し、愛される中で 出会いを生きる神学 榎本てる子



型破りな実践神学者が遺した、心深くに届くメッセージ集。「愛し愛される中で、人が変わり、成長し、癒されること」を求めた旅路の記録。
A5判・208頁・1944円

日本キリスト教団出版局
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457
E-mail eigyou@bp.ucci.or.jp 《価格8%税込》
<http://bp-ucci.jp>

バルトの美人生と神学の関係に切り込む

評者 佐々木 潤



DVDカール・バルトの愛と神学

ペーター・ライエンバッツ監督

人は誰もが罪責を抱え、それを赦されて生きていく。誰も裁くことはできないし、石を投げつけることもできない。私は違うと言うなら、その人はまだ自分の罪に気づいておらず、恵みも知らないのである。

話題に事欠かないカール・バルト。読み切れないほど膨大な著作を遺し、その発言と行動はつど物議を醸し、影響は計り知れず、今なお聴くべき語録が生きている。その彼が世を去った一九六八年一月九日から十日にかけての夜。そこから数えて五〇年というところで関連書の出版が相次ぐ中に、DVDが加わった。動くバルトを見ることができて、声を聴くこともできる。その面影のある老年の孫たちも登場する。二世代が入り替わった。

ザーフェンヴィルでの労働者問題に始まり、『ローマ書』、『バルメン宣言』、前後して『教会教義学』（以下KD）の生まれる文脈が紹介されていく。この半世紀の間に何度も物

語られてきた通りに、彼の受けた栄誉も誹謗も一揃い証言される。

しかし、この作品で最も強烈なのは、それ以上の比重で描かれる彼の実生活の「やっかいな三角関係」（1分17秒）、「難しい三角関係」（11分30秒）である。カールとネリーと五人の子供たちの住む家に、あの助手シャルロット・フォン・キルシュバウムが移り住み、以降四〇年近くも同居した。そして皆が悩み続けた。KDは明らかに共作であり、バルトがその形を必要とした。ただ、外では巨人であった彼もここでは相対化される。他人には決断と言っておきながら、何と小さい男であることが。

神学を知らなかったが、バルトと出会い、対話の相手として選ばれ、その中で神学を根本から習得し、欠かすことのできない共著者となったキルシュバウム。その成長の軌跡が厚情あふれる証言で再構成される。

ちはバルトが分かるのです」（21分53秒以降）。

これはKDⅢの第54節、邦訳『創造論』Ⅳ／2を指しているのだが、手元がない人のために、ケースの中におくすり手帳のような小冊子が入っていて、当該部の要約が数分で読めるようになっていて。どの面下げて、こんなことが書けるか、と一蹴するのは簡単だが、彼は自分を差し置いて教えを垂れているのではないし、自分に差し障りのないことだけ書いているのでもない。「あなたの方の中で罪を犯したことの無い者がまず石を投げなさい」との恐ろしい命令と「私もあなたを罪に定めない」との慰めを告げるお方に聞くのでなければ書けない結婚論である。

（ささき・じゅん 日本基督教団武蔵野教会牧師）

（DVD+A6判ブックレット二四頁本体三七〇〇円+税新教出版社）

一方、蚊帳の外に置かれてどんなにか苦しんだであろうに、伴侶であり続けたネリー。ナチズムに寄り添う教会に夫が「否」を語っていたとき、離婚を懇願する夫に「否」と答えたネリー。彼女は何者だったのか。因習から抜け出すことのできなかつた哀れな人なのだろうか。一九歳で結婚し、八一歳で世を去ったネリーは、カール・バルトに耐え、キルシュバウムに耐え、彼らを葬った墓に自分もまた葬られることを受け入れた。祖母を偲ぶ孫たちの言葉が胸を打つ。ネリーとは、バルト神学が語ろうとしていたことの中を実際に生きていた人なのかもしれない。

ニクラウス・ペーター氏がこう語る場面がある。「バルトは自らの結婚生活が本当に困難で問題に満ちていると知りながら結婚論を書いています。それを理解して初めて私

ヨベルの新刊案内

宮村武夫著作全8冊完結!
永田司責任編集
廣瀬薫 菅人会長

真実の神、公同礼拝③
コリント人への手紙第一「注解」

巻頭言&巻末エッセイ
著者の丹念な聖書読解術・読解力に、
堅固さと柔軟さ・温かさ…
キリストにある共同を担われる方…

大坂市立大学を教壇に 佐藤全弘氏
四六判上製・三四〇頁・一八〇〇円

水章修治著 日本同盟基督教団吉小牧福音教会牧師

失われた歴史から
創造からバベルまで

創世記の原初史を理解
できれば、現代が分か
る! 創世記1章が分か
る! 物語の中に、神の計
画の全体像を読み解く
手がかりを提示。

一三四頁・一、〇〇円

藤原孝行
日本福音キリスト教会連合
西府府キリスト福音教会 牧師

よくわかる クリスマス生活

「つまり、ようするに、
キリスト教って何ですか?
」に明快に答えた
著者の終活からの
暖かいメッセージ。

ヨベル新書 052・
224頁・1,100円

ヨベル YOBEL Inc. info@yobel.co.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-15F
TEL03(3818)4851 FAX03(3818)4858
出版の手引き / 呈 (税別)

この先生なら、自分の悩みを話せるかもしれない

〈評者〉大嶋重徳



視点を変えて見てみれば

19歳からのキリスト教

塩谷直也著

学生伝道を二〇年間続けてきた私の独自調査の結果によると、「十九歳と二十三歳は人生の挫折を迎えやすい」というデータがあります。

学生たちは大学に入ると、一つの壁にぶつかります。「こんな筈じゃなかった」という壁です。「こんなことをするために、自分は大学に入ったのだろうか」。あの辛い受験勉強の結果がこれなのか？と愕然とするのです。浪人経験者は夏前にこの壁にぶつかりますが、現役合格者は夏はまだまだ勢いよく乗り越えていきます。しかし冬までには全員同じ壁にぶつかりながら、受験勉強の際には考えないようにしようとして決めていた「生きる目的」「人生の意味」を、十九歳の彼らは問い始めていくのです。

この壁にぶつかった時の反応は二つです。一つは「人生なんて所詮こんなものだ」と、人生を諦めていく道です。もう一つは「どこかに生きる意味があるはずだ」ときちん

と悩み始める道です。どちらの道を歩く若者にも、聖書の言葉を届けたいと思います。部屋に引きこもり、命を絶つことを考えている若者が日本中に沢山いるのです。

青山学院大学で、塩谷先生の授業に出会えた学生たちは幸せです。あのニヤツと笑う顔。「受け入れてくれるよ」という佇まい。表参道に似合うサイズ感のあったオシャレなジャケット。「この先生なら、自分の悩みを話せるかもしれない」。

『視点を変えて見てみれば』を通して、塩谷授業を受けずとも、彼らの心の深くに届く言葉を受け取ることが出来ます。塩谷先生の十九歳の時の公園で子どもたちを待つエピソードは、私の十九歳の時の「存在を認めてくれる人」を待っていた時の切なさを感じ起こします。塩谷家の猫のマルのエピソードは、神様の愛を信じられずに痛みを感じていた自分と重なります。雑巾のエピソードは自分の生き

方をそっち側にしたいと心から思います。読みながら読者は思うのです。「ああ、これは私のことだ」。そして読者は考えます。「なぜこの著者は自分のことを知っているんだらうか？」そして気づく。「ああ、神がいて、自分のことを知っているからなのか」と、神体験を読書中にするのです。そして一つの行動を取ることとなります。「聖書を読んでみたい」と。もちろん短時間にスムーズにそれが起こることを著者は期待していません。悩むこと、考えること、

自問すること、そして祈ってみることに時間を掛けるように優しく励ましますのです。

文章はさらりさらりと読めます。しかし読後、「あれ、結構大切なことが書いてあったよな」と必ず読み返すこと

となるのです。今度はじわりじわりと、神様の迫りを感じながら、一章読んでは遠くを見て、しばらく考え込むこととなるのです。

さらに本著は、若者に寄り添いたいと願い、「届く言葉」を探している牧師にお勧めです。「ああ、彼らにこう言うてあげれば良かった。」と、教会にいる青年たちにかける言葉の手掛かりが沢山詰まっています。視点を変えて若者を見ることを教えてくれるのです。

私の学生伝道二〇年間のキャリアをかけてお勧めします。この本は買いです。

(おおしま・しげのりキリスト者学生会総主事)
(四六判・二二〇頁・本体二二〇〇円＋税・日本キリスト教団出版局)



新刊 死生学年報 2019

死生観と看取り

東洋英和女学院大学
死生学研究編
●A5判並製 本体2500円＋税

『聖書』が「看取り」について語ること
佐々木 啓

●イスラームにおける死
鎌田 繁

●ホロコーストを語ること
丸山空大

●メソポタミアのマクルー儀礼にみる死と再生
細田 あや子

●賀川豊彦とハンセン病文芸
松岡秀明

●メソポタミアの「冥福」観
渡辺和子

●高齢多死社会の看取り現場からの報告
奥野滋子

●臨床仏教師の役割
神 仁

●天理教の死生観と看取り
白木原 嘉彦

●他、5篇

LITHON [リトン]

〒101-0061 千代田区神田三崎町2-9-5-402
TEL03-3238-7678 FAX03-3238-7638

日頃から葬儀にふさわしい 御言葉に親しんでおくために

〈評者〉岩崎 謙



説教黙想アレタイア 特別増刊号
死に勝つ慰め
葬儀説教をいかに語るか
日本キリスト教団出版局編

副題に「葬儀説教をいかに語るか」とある通りで、本書は、自死と子どもの死去また葬儀後のグリーフケアをも視野に入れた、葬儀説教への手引き書である。「先達の説教に学ぶ」(第四部)や「ブックガイド」(第三部)もある。

本書の中心は、経験豊かな説教者が葬儀を念頭において行った「説教黙想」(第二部)にある。積义的な深まりと共に、説教者の葬儀観が開示され、説教者は葬儀において何を黙想するべきかを学ぶことができる。また、取り上げられている聖書箇所を知るだけでも意味がある。日頃から葬儀にふさわしい御言葉に親しんでおくことの大切さを学んだ。ここに列挙する。ヨブ一章二節、詩二三編、哀三章一八―二四節、ルカ七章一一―一七節、ヨハ一章一―四四節、同一四章一―六節、ロマ八章二八―三九節、一コリ一五章五〇―五八節、二コリ四章一―一五節、同四章一六節―五章一〇節、一テサ四章一三―一八節、ヘブ一

章一三―一六節、一ペト一章三―九節、黙七章九―一七節、同二一章一―四節、マタ二章一六―一八節、マコ一〇章一三―一六節。

特定の御言葉でなくても、愛唱聖句からの葬儀説教の可能性にも言及されている。「葬られる者がキリスト者であれば、神の言葉に導かれる者であった。それがその人の愛唱聖句に表れる」(七頁)とある。愛する者が好きだった御言葉なら、未信者の参列者でも心を開いて聞く。また、「会衆の心に響く慰めの葬儀説教は、聖書の御言葉と故人の信仰生活とが響き合うところで生まれる言葉である。葬儀においては、第一のテキストである聖書と共に、第二のテキストである故人の信仰生活が重要である」(八〇頁)とある。書評から少し外れるが、第一と第二のテキストが響き合うには、愛唱聖句からの説教が最善であることを体験的に学んできた。愛唱聖句を黙想すると、その人が何を

大切にして生きてきたかが立ち上がってくる。愛唱聖句に基づく説教には、その信徒を生かしてきた御言葉を、霊の遺産として皆で受け継ぐという教會的祝福が伴う。

とはいえ、愛唱聖句なしでの葬儀もしなければならぬ。その際、本書は大変役に立つ。三月一四日に、信徒の夫(未信者)を見舞った。意識がはっきりしており、「わたしは道であり、真理であり、命である」(本書紹介)を病床で語った。その後急変し、一七日に死去となった。一九日の葬儀説教箇所はヨブ記と哀歌の御言葉(本書紹介)で、故人の人生の苦難を思い、夫を失った妻の嘆きに心を合わせた。二三日にご遺族と改めてお会いしたが、哀歌の御言葉が心に残ったとのことでした。本書を読んていなければ、今回のような葬儀説教はできなかつた。

教会は、葬儀により、つまり、遺体の葬りを礼拝儀式として行い、神賛美のなかで『死に勝つ慰め』を届ける。教會の葬儀で直面するのは、ギリシア的霊肉二元論でなく、現代の物質観でもない。神の像を宿し、直前まで生かされていた人の死体が安置されている現実である。本書は、死への言及は多いが、聖書の理解に基づく遺体(肉)の考察は少ない。神の作品である遺体の葬りの場で、靈魂不死ではなく、体の甦りの信仰的リアリティーをどのように語るのか、その問いに近づく険しさを改めて覚えた。「葬儀説教の基盤」(第一部)は、葬儀説教をするためには、葬りの神学的基盤を各自で持たねばならないことを示唆している。(いわさき・けん)日本キリスト改革派神港教會牧師

(B5判・二二八頁・本体一八五二円+税、日本キリスト教団出版局)

新聞 アーカイブス 全5巻



1946年の創刊号から昭和の終わりまで。激動の時代を記録した超貴重な一級資料を当時のままデジタル化。フリーワード検索など、検索機能も充実。敗戦直後のキリスト教界がありありと甦る。

「時代の先駆を成す紙面、
鈴木範久 (立教大学名誉教授)

推薦

戦争が終わって1年も経たない1946年4月、賀川豊彦により『キリスト新聞』が創刊された。特定の教派を超えた本紙の内容は、時代の先駆を成している。記事の中では、とりわけ天皇制と共産主義に対する関心の強さが目をひく。代表的信徒の戦中と戦後の言動の変化をはじめ、現代のキリスト教にとって注意すべき記事があまりにも多い。

価格
100,000円
+税/巻
特設サイト
はこちら
<https://www.kirishin-arch.com/>



キリスト新聞社 since 1946
〒162-0814 東京都新宿区新小川町9-1
TEL: 03-5579-2432
E-Mail: support@kirishin.com

聖書通読への やさしいガイド第一弾！

〈評者〉大頭真一



3分間のグッドニュース「歴史」 聖書通読のためのやさしい手引き書

鎌野善三著

このたび、私が大好きな鎌野善三牧師の「3分間のグッドニュース」が版も新たにヨベルから出版されることになりました。まず、全五巻のうちの「歴史」が刷り上がりました。今後二年をかけて「律法」「預言」「詩歌」「福音」が次つぎに出来る予定です。

入手した真新しい本書をさっそく、私の本棚の手の届くところに納めてみました。隣には旧版の5冊が並んでいます。思えばこの五冊を何人の人に貸し出したでしょうか。

「自分で聖書を読んでもよくわかりません」という方がたに、「では、これを使ってみてください」とお渡ししてきたのです。多くの方が「自分用に買いました」と言って返却してくださりました。

本書の成り立ちについて、鎌野先生にお伺いしたことがあります。先生が池田中央教会の牧師であったとき、教員になんとか聖書通読を、と願われたそうです。ところが、

「自分でもそんな牧会的な動機で始まった本書です。わかりやすく、有益な書になったことは不思議ではありません。聖書各巻ごとに緒論にあたる部分が簡潔に正確に記されています。議論があることがらについては、鎌野先生が取った立場のみが記されていますが、この本の目的からは、好ましいことでしょう。もっと学びたい方は、ここを出発点に、さらに先へと進めばよいのです。本文は一章について1ページずつが当てられ、その章の内容と解説、そして私たちの生活への適用と祈りが豊かに展開されています。例えば、列王記第二13章21節はなかなか手強い箇所ではないかと思うのですが、このように記されています。「21節は、死んだ人がエリシャの骨に触れたときに生き返った奇跡を記しています。これはたとい死ん

聖書はそんなに読みやすい書物ではありませんから、「なかなか通読できません」という声が聞こえてきました。鎌野先生は神学研究者であり、教育者であり、聖会講師や通訳者など、いろいろな顔を持つ多才な先生です。けれども私は、鎌野先生の本質は、まさに牧会にあると、にらんでいます。すぐれた牧会者は羊の声を聞きます。先生は、その「聖書がわからない」という叫びを聞き捨てにすることはありませんでした。なんと毎朝六時に、その日の聖書箇所を解説を三分間の電話メッセージに録音して、教員が聞けるようにし始めたのです。一日も欠かさないうで。これは多忙な先生にとつて、たいへんなことであつたにちがひありません。けれども言葉によつて群れを養うことへの情熱によつて、先生は語り続けました。そうするうちに、聞き逃した方たちから、文字でも読みたいという要望が寄せられるようになり、ついに出版されることになった、と

だような北王国でも、エリシャの語る主のことばを本気で信じるなら生き返ることを示唆する記事だと言えるでしょう。現在の私たちは、主のことばを本気で信じているでしょうか。主は、本気で信じる者たちには、本気で応えてくださる方です。どんな罪人にも、豊かな憐れみを示してくださいさるのです。」(一五五頁)

今回、聖書の引照がすべて「新改訳聖書2017」に置き換えられました。これを機会に、聖書通読を「2017」で始めてみませんか。かたわらに「3分間のグッドニュース」を置いて。次回配本は『詩歌』とのこと。

(おおよそ・しんいち)日本イエス・キリスト教団明野キリスト教会
牧師・関西聖書神学校講師)

(A5判・二七二頁・本体一六〇〇円+税・ヨベル)

怒つて神に
ヨナの怒りに触れて

怒れ！あなたのトウゴマの木のしたで。怒れ！まだ陽の暮れていないうちには。

ヨナと神学のミニストリー代表
上沼昌雄

神に怒りをぶつけた。人ではない。本気でただ神に怒った。神以外にそこには誰もいなかったのも事実だ。他に誰を相手にこの怒りをぶつけたらよいのだ。といつても、仕向けたのは神である。神が仕掛け人である。*ヨベル新書・二二四頁・一〇〇〇円

鎌野善三著 (日本イエスキリスト教団西舞鶴教会牧師)

3分間のグッドニュース「歴史」

聖書各巻の一章ごとの要諦を3分間で読める平易なメッセージにとめて、大好評を博した「3分間のグッドニュース」全5巻を「聖書新改訳2017」に準拠して出版する改訂新版第一弾！ 毎日のデイブションの座右の書に最適！ ヨシュア記エペソ書に収録。A5判・二七二頁・一六〇〇円

株式会社ヨベル YOBEL Inc.
お問合せは info@yobel.co.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-1
TEL03(3818)4851 (本体税別表示)
*自費出版の専門出版社*資料・呈

行動による祈りと共感・ 共苦の生き方

〈評者〉**島蘭 進**



「新」キリスト教入門(1)

新免 貢著

本書はキリスト者としての自らの生き方を明示しようとした書物だ。自らが主体的に生きる信仰を明確に述べ、そこからキリスト教の本質を捉えようとしている。その意味での「キリスト教入門」であって、「キリスト教とは何か」をわかりやすく解説したものではない。「宗教者」は「共感と共苦」によってうながされ、目の前にいる困窮者を助けます。」たとえば、「宗教者」の条件は、ただその一事で足りません。それは、伽藍の外に出て、ひと肌もふた肌も脱ぐ生き方やふるまいであり、そこに市民社会との接点があります。その接点がなければ、宗教はその立場を失います(二八一―一九頁)と。また、「キリスト教の基本は、さまざまな局面で生きて居る人びとの痛みと想像力の翼をいっばいに広げ、共感する感性——あなたが痛いからわたしも痛い——という思い——を磨くことにあります」というように。

第一部「お題目から共感・共苦への転換」では、現代社会の倫理的荒廃に言及しながら、以上の立場を「行動が祈り」という点に集約している。第二部と第三部が本論にあたるが、それぞれ「人間存在を被造物として認識する創造信仰」(第二部)、「上下関係をこえて人びととの濃密な交流にのめりこんだイエスの思想行動」の解明(第三部)にあてられている。

第二部は聖書に即してというよりも、現代社会の困難に即して語るといふ側面が強い。パウロの手紙に人間を「土の器」とする表現があるが、著者はこれを「弱くて壊れやすい器」としての人間と捉える。キリスト教会はこうした土の器たちを「目が離せない存在」として受け入れ、それが生かされるような社会の仕組みを問うてこそ「慰めの共同体」となることができる。ところが、現代社会は人間存在をモノとして扱い、基準以下の人間存在を見くくす生

産性の論理のもと、子どもを「発達の論理」に従わせようとする。そうした社会がはじめや自死や生み、障害者の殺傷を正当化もする。ここで欠けているのは、創造信仰だ。「人間は、天空に輝く星の数々も空気も雨も風も支配する力も持ちえて」いない。「世界も自分自身のいのちも、人間が自分で獲得したものでない。——このような自覚があつてこそ、すべての者に癒しがある」という救いや「生きていたのだという証明書」を得得ることができらるだろう。

第三部では、新約聖書の福音書に現れたイエス像から、浄・不浄の区別を撤廃していく生き方を見出そうとしている。ここでは「悔い改め」やフアリサイ派批判をどう見るかに多くの紙数がさかされている。「悔い改め」は個人の内面で起こるだけのことでない。「人間が作り出したものは、

人間の手ではかものものに転換させていくのがわたしたちの課題です。」「そういう転換が、本質的な意味での「悔い改め」です。それは社会の破れに関わっていく「憂いの共有」を含み、他者とともに行動すること、困窮者を放置しないということを含む。そのようなイエスの生き方は感染し、浄・不浄の区別を撤廃していくと云う。

現実から遊離することをせず、今を生きる意欲に満ちたダイナミックなキリスト教理解であり、行動するキリスト者である著者の肉声が響きわたる。真摯な宗教的生き方が宗教という枠を超えていく動きを体現する書物である。

(しまぞの・すすむ)上智大学大学院実践宗教学研究科教授
(四六判・二七〇頁・本体二五〇〇円＋税・燦葉出版社)



キリスト教書総目録 2019年版

心がよるえる本との出会い

巻頭メッセージ 柳美里氏 水島治郎氏

内容

総記 年鑑 辞(事)典 図説年表 / 全集(著作集) 叢書 講座 / 聖書 聖書学 / 神学 / 宗教哲学 思想 倫理 / 伝記 / フラタシオン / 信仰入門書 人生論 説教集 / 文学 小説 評論 / マチ 詩 劇 / 音楽 美術 建築 / 教育 保育 心理 社会福祉 / 児童 絵本 / 讃美歌 式文 / DVD CD カセット ビデオ / キリスト教関連雑誌 新聞 書名索引 / 著者索引 / 掲載出版社名簿

■ A5判 一般頒布1冊286円＋税 送品手数料200円
■ お近くの書店様でお求めください。

キリスト教書総目録刊行会
〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内
TEL.03-3266-9521

謙遜と喜びをもって 終わりを待ち望む 〈評者〉長山 道



改革派教義学7
終末論
牧田吉和著

別冊を含めて全八巻にわたる『改革派教義学』の第七巻「終末論」が出版された。このシリーズは牧師、神学生、教会役員などの方々に向けて書かれたものであるが、そのような幅広い読者を対象に終末論をものすことは、既刊の「神論」や「救済論」に比べて、かなり困難な作業であったはずである。というのは、著者が「あとがき」に記されているとおり、われわれは終末に関して聖書からすべて明瞭に知りうるわけではないし、根拠となる聖書箇所もさまざま、一つの結論にしぼることはほぼ不可能だからである。その上、終末論のトピックの中には、今日までの神学思想史において十分に展開されてこなかったものもある。

しかし、評者自身教会に仕える中で、教会員の方々の間で終末論的な事柄についての関心が非常に高いことを日頃から身をもって感じている。ゆえに、専門的で難解な神学

心を持たずにはいられない事柄について、日本人的な情緒に流されることなく、なおかつ牧会的な配慮を欠かすことなく、改革派神学に忠実に正統的に答えている。折に触れてルター派、ローマ・カトリック、正教会など他教派の教理との比較も丁寧になされていることにより、改革派神学の特徴がさらに際立って興味深い。

本書を読み進めるうちに、たとえ個人的で素朴な問題意識から読み始めた読者でも、終末論の教会的、さらに宇宙論的な展開に気づかされ、喜ばしい希望を与えられるであ

書でもなく、いささかオカルト的な興味に訴える書物でもなく、わかりやすい言葉でコンパクトにまとめられた堅実な終末論の著作は、まさに待たれていたものである。平易な語り口を保つために、著者はかなり大胆に思い切った仕方ですく決断をたびたび迫られたのではないかと拝察する。この労作が世に現れたことを喜び、感謝するものである。本書が執筆された背景には、著者の信仰者としての実存的な動機と、伝道者・牧会者としての実践的な動機があり、これらが本書を終末論の知識的な概説にとどまらない、生き生きと魅力的な信仰の書にしている。たとえば、「先に召された者との交わり」や「幼児の死」といった問題は、大切な方を亡くされた信徒にとっても、慰めを語る牧会者にとっても、切実に問われるものであろう。また、自身身の人生や死を思うとき、われわれは個人的終末論に関する問題に直面せざるを得ない。本書は、こうした誰もが関

らう。また、たとえちよつとした好奇心から読み始めた読者でも、われわれには知り得ないことがあるという限界を教えられ、謙遜にさせられるであらう。そして、喜びと謙遜をもって終わりの日を待ち望む思いを新たにさせられるに違いない。

(ながやま・みち)東京神学大学准教授、日本基督教団安藤記念教会協力牧師

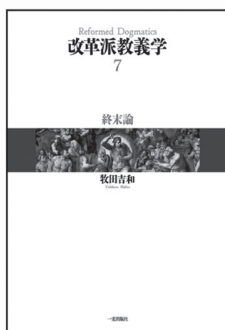
(A5判・三三〇頁・本体四五〇〇円+税・一麦出版社)



終末論

〈改革派教義学〉第7巻

牧田吉和
Yoshikazu Makita



神中心的包括的終末論を問う。すべての神学的課題は終末論へと流れ込む。終末論においてその神学の本質が姿を現す。改革派神学は神中心的包括的終末論を問うのである。

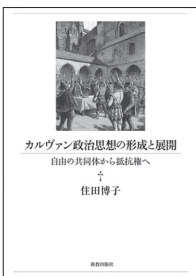
A5判・上製・函入
定価【本体4,500+税】円
ISBN978-4-86325-052-9



株式会社 一麦出版社
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10
TEL (011) 578-5888
<http://www.ichibaku.co.jp>
携帯 mobile.ichibaku.co.jp

神学と政治思想の興味深い交錯

〈評者〉千葉 眞



カルヴァン政治思想の形成と展開
自由の共同体から抵抗権へ
住田博子著

本書は、著者住田氏が、二〇一六年に首都大学東京社会科学部研究科に提出した博士論文が基本になっている。一読して分かる本書の特質は、カルヴァン政治思想の形成と展開に関する考察と分析において、その神学思想と政治思想との交錯——緊張と結合——とを説得的な筆致で描き上げている点にある。カルヴァンの神学思想に沈潜しつつも、その信仰共同体の制度と自由を探索していくなかで提起された彼の政治思想について十分な吟味検討がなされている。後者については政治思想史家シュエルドン・ウォリンやクエンティン・スキナーなどによるカルヴァンの制度論・権力論・抵抗権論に関する理解との批判的対話も試みられている。

著者はまず序章と第1章で、カルヴァンの思想や実践にまつわる誤解やレッテル貼り——例えばジュネーブの統治を祭政一致に基づく専制的な神政政治として認識する見方、

近代的な自由概念の先駆者としてカルヴァンを評価する解釈など——を一つひとつ取り上げ、それらを論拠の乏しいものとして批判している(八―五二頁)。カルヴァンの時代のジュネーブの国家教会体制に関しては、綿密な歴史的考証、カルヴァン自身の『キリスト教綱要』などの諸著作の検討、多様な二次文献の参照などを通じて、それが「制度」と「自由」の両立可能性、「神の絶対性」と「キリストによる自由」の相補性を担保しようとする興味深い試みであったことが示されている。こうしてジュネーブの国家教会体制は、「可視的教会」(闘う教会)による「カルヴァン自由論の展開例」として位置づけている(とくに六九―七九頁を参照)。

本書で興味深いのは、教会(キリスト教共同体)論、小児洗礼論、信仰義認と聖化の関係の理解、世俗的秩序と世俗的権力への態度や理解に関して、カルヴァンと再洗礼派

(宗教改革急進派)との相違と断絶に多くのページをさいていることである(第2章と第3章、八八―一五五頁)。

ここでのカルヴァンの再洗礼派批判の論拠は、彼自身、歴史的に汚れの多い「可視的教会」と完全な「不可視的教会」との弁証法的緊張を常に前提とするのに対して、再洗礼派は前者に後者の理想を文字通り要求するその完全主義的誤謬を指摘するところにあった。

「再洗礼派批判文章において彼(カルヴァン)は、汚れ[邪悪な者]を取り除く任務を十分に果たせない教会や、果たそうと努めない教会が多数存在すると述べた後で、なおも『この世の終わりまでは毒麦を忍ぶように、全てを引き抜いて一緒に良い麦まで失ってしまわないためである、と言った主の言葉に従おう』と説いた」(一四六頁)。そしてここにはカルヴァンの契約共同体(「神の民」共同体)としての教会理解が介在している(第4章)。

第5章ではカルヴァン派の政治権力観と抵抗権論が議論されている。政治権力への服従義務を強く主張したカルヴァンではあったが、著者はスキナーの解釈とは異なり、

後のカルヴァン派やピューリタニズム左派に見られた抵抗権論の思想的基盤をカルヴァンその人の思想のなかに見いだしている(一五三―一五四頁)。

カルヴァン政治思想に関するこの秀逸な著作が、読者を裨益するところは大きいと思われる。そしてまた、冷厳な「鉄の教義」とも呼ばれた二重予定説への嫌疑が次世代のカルヴァン派の論者たちだけでなく、しばしばカルヴァン自身にも投げかけられることがあるが、「自由」と「制度」の連携、さらには「契約神学」を基本に置く本書のカルヴァン解釈の視座において、こうした主題はどのように論じられるのだろうか。またエルンスト・トレルチが提起する「古プロテスタンティズム」と「新プロテスタンティズム」の二類型論の視座において、宗教改革からピューリタニズムや啓蒙思想への展開を、著者はどのように見通し評価しようとしているのだろうか。本書の射程を越えるこれらの問いも、おのずと筆者の胸には浮かんできた。

(ちば・しん 国際基督教大学特任教授・政治思想専攻)
(A5判・二五六頁・本体三六〇円+税・新教出版社)

聖書を通して新たな希望へと 促される書

〔評者〕**深田未来生**



希望する力
生き方を問う聖書
佐原光児著

良い本とはどのようなものだろうかと考えたことがある。自分には本を書いたり作ったりする能力が欠けていることを自覚しているが、他人の本に関しては奇妙にこだわりを持ち、評価の基準を作り出していたことに気がついた。私が良いと考えたり感じたりするのは、著者の人柄がにじみ出て一種の香りのようなものを伝える本だ。もちろんその「香り」とは時に強烈だったり、時にはほんのりとした心地よいものだったりする。

佐原光児氏は牧師であり、現在は聖書科の教師として明治学院高等学校に勤めている。私から見れば青年だが、すでに日本とアメリカで牧会の経験を持ち、広い視野に立つて、高校生たちと学ぶ日々を「楽しんでる」教育者だ。牧師である父に反発しつつも、その父の働きに神に仕える「意気込み」を見てとり、それに打たれたのか神学部に進み、さらに日系教会の働きに参加しながらアメリカで学びを続

け、キリスト教信仰の実践性をテーマに博士号を取得している。

私は、聖書科がキリスト教主義学校の精神的かなめであると考えている。それだけに聖書科の教師たちが担う責任は重く、同時にその働きは教室での学生たちとの学問的・精神的作業に加えて、キリスト教主義の教育はどうあるべきかを常に問い続ける使命をも伴う。苦勞も多いだらう。

佐原氏はこの働きの現場にあつて、未来を担う高校生と共に聖書をひもとき、彼らが聖書に親しむ突破口を探りながら今を共に生きてゆく姿を目指そうとする。これが執筆の根底にある動機である。

この動機を反映して、本書は典型的な「教科書」とはいがたい特色を持つ。聖書を通して何を見るのか、何を探り出したいのか、聖書は今この世に生きようとする若い生徒たちに何を示そうとしているのか、希望の道のりは見い

だせるのか、といった問いに答えようとする。極めて今日的出来事や現象、課題を具体的に取り上げながら読者に考えを深める刺激を与えようとする。特に第4章「現代の諸問題と聖書」に顕著である。人権の問題も様々な観点から検討が試みられている。「多様な性と人間の尊厳」の項目で取り上げられているセクシュアリティは、現代において極めて重要でありながら、教会でも学校でもいまだに取り上げやすい課題ではない。丁寧に展開される著者の視点は、きつと良い学びを生むに違いない。

全体的に、課題に関連するたくさんの資料を挿入し、興味深い物語や写真を提供して視野の広がりを求める姿勢は、

(A5判・一五六頁・本体一三〇〇円＋税・新教出版社)

(ふかだ・みきお 同志社大学名誉教授)



教文館の本

好評発売中



世界が絶賛！ 巨匠手塚の遺作アニメ ● 本体28,500円

手塚治虫の旧約聖書物語

〔豪華9枚組コンプリートDVD BOX + 公式スペシャルガイドブック〕

天地創造からイエスの誕生まで、壮大な聖書の世界を描いた全26話。世界が絶賛した聖書アニメの最高峰が、手塚治虫生誕90周年を記念して待望の復活！

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1
TEL 03-3561-5549
呈 / 内容見本・図書目録 ● 価格は税抜

西郷さんってクリスチャン？

〈評者〉真壁 巖



西郷隆盛とキリスト教信仰
館 正彦著

本書の著者から書評を依頼された時、断れない理由が二つあった。一つは昨年、私が日本基督教団西千葉教会牧師に着任してから毎週、著者は客員でありながら休むことなく忠実に礼拝を守り、必ず笑顔で感想を述べられた。北海道生まれの著者は、少年期に内村鑑三の高弟であった浅見仙作宅での日曜学校に通い、信仰者となる。同志社大学法学部卒業後、文書伝道の志を抱いて教文館の洋書部に入社、その後一九七九年に出版社エルピスを設立し、その代表取締役だけあって、いつもコメントは深い洞察力と温かい配慮に満ちている。そんなこれまでの励ましへの感謝が理由の一つ。もう一つは本書の題名にある。昨年のNHK大河ドラマは「西郷どん」であったが、それも手伝い鹿児島を訪れ、西郷に関する書物や資料を読んだ。必然的に西郷を生かした「敬天愛人」精神に触れ、その出所に興味を持った。しかも家から歩いて行ける距離に「敬天愛人」を建学

の精神として創立された敬愛大学があり、どんな学校かと考えていた矢先に本書と出会った。

特に注目したのは『西郷隆盛とキリスト教信仰』と切り切っている点だ。その序章には「千葉に生きる西郷精神——敬天愛人への旅立ち」とある。今や県内有数の教育機関である敬愛学園の三代目を受け継いだ長戸路信行氏との出会いが本書執筆の動機となっている。著者も敬愛大学で講師を務め、学園からの依頼で創立者・長戸路政司氏の伝記を出版することになり、そこで西郷隆盛(号は南洲)と出会い直す経験をする。本書のまえがきで著者は、主君島津斉彬が与えた漢訳聖書が西郷の生涯に及ぼした影響、すなわち西郷の内に宿ったキリスト教信仰について、新しい視点で書かねばならないと思ったと述べ、西郷が実際はどんな人物で何をし、また何をしなかったのかをぜひ知ってほしいという熱い思いを込めて語り始める。

三〇冊もの文献を要した著者の丁寧さと、勝者によって書かれる歴史への用心深さが伝わってくる。とりわけ「西郷は征韓論者に非ず」や城山での自刃は「断じて自殺ではない」とする著者の主張には説得力がある。終章では西郷の最期に触れ、「それはキリスト教信仰を持つ者として、復活の、永遠の命の確信と希望を持つ者だけが迎える死……天に国籍を持つ者に約束された、恵みの旅立ちとしての死だった」と断言して閉じられる。

きつと本書は多くの日本人に「西郷さんってクリスチャン？」との関心を抱かせるだろう(韓国では三悪人の一人であるが)。しかし本書は西郷の洗礼証明書は見つからなかったことを伝え、「西郷さんは、横浜で洗礼を受けたが、立場上明らかにしないでほしいと話され、黒豚三頭を寄贈して帰られた」という興味深いエピソードを紹介する。実にありそうな話だが、その史実はともかく、むしろ西郷が「敬天愛人」に生きる姿勢をどこで得、実際にそれを貫き通した生涯が、どれだけの人々に影響を及ぼしたかを伝えるところに本書の目的を見る。

西郷にとってキリスト教信仰とは何であったか。著者はそれを知る探求心から各地に足を運び、資料提供者や親族とも会う中で、これまで知らなかった西郷像を浮かび上が

らせてゆく。本書は幕末から西南戦争までの歴史を辿り、本論を展開。「我が国籍は天にあり」の終章によって結ばれる。

(まかべ・いわお) 日本基督教団西千葉教会牧師

(四六判)・一五八頁・本体二〇〇円+税・キリスト新聞社

日本語で書き下ろす聖書注解、最新刊

VITJ 旧約聖書注解
列王記上 1-11章

山我 哲雄

ソロモンの治世を記す聖書箇所を、申命記史書の泰斗である著者が、旧約のみならず文化芸術に触れつつ解説する。

A5判・458頁・5184円

コヘレトの言葉を読もう
「生きよ」と呼びかける書
小友 聡

「コヘレトの言葉」を鮮やかに読み解き、「今の生を徹底して生きよ」という中心主題を明らかにする。 四六判・136頁・1,512円

TOMOセレクト
かんたん! たのしい!
CSわいわいアイデア集
『教師の友』編集部 編

『教師の友』掲載のすぐ使える活動アイデアを1冊にまとめた傑作選。 B5判・96頁・2,160円

井上洋治著作選集 別巻
井上洋治全詩集
詩の朗読CD付

山根道公 編・解説 若松英輔 解説
井上神父の信仰の結実とも言える、「南無アッパ」の祈りの詩集。
A5判・252頁・2,700円

[増補改訂版] 魯恩碩
旧約文書の成立背景を問う
共存を求めるユダヤ共同体

旧約聖書を生んだ捕囚後ユダヤ共同体の実態を描いた力作を増補改訂。 A5判・418頁・4,536円

日本キリスト教団出版局
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3204-0422 ☎03-3204-0457
E-mail eigyou@bp.ucci.or.jp 《価格8%税込》
<http://bp-ucci.jp>

編・著・訳者	書名	判型	頁	本体価格	版元	発行日
E.カトンゴレ、 C.ライス 著 佐藤容子、平野克己訳	シリーズ 和 解 の 神 学 すべてのものとの和解	四六	208	2,000	日本キリスト 教団出版局	3/11
『教師の友』編集部編	T O M O セ レ ク ト かんたん! たのしい! CSわいわいアイデア集	B 5	96	2,000	〃	3/15
小 友 聡	コヘレトの言葉を読もう ー「生きよ」と 呼びかける書	四六	136	1,400	〃	3/20
山 我 哲 雄	V T J 旧 約 聖 書 注 解 列王記上 1~11章	A 5	458	4,800	〃	3/25
新教出版社編集部編	統べるもの/叛くもの ー統治とキリスト教 の異同をめぐって	四六	214	2,200	新教出版社	3/25
岡 田 聡	ヤスパースとキリスト教 ー二〇世紀ドイツ語 圏のプロテスタント 思想史において	四六	224	2,500	〃	3/25
佐 藤 司 郎	カール・バルトと エキュメニズム ー一つなる教会への途	A 5	270	3,500	〃	3/25
東洋英和女学院大学 死生学研究所編	死 生 学 年 報 2 0 1 9 死 生 観 と 看 取 り	B 5	284	2,500	リ ト ン	3/31

既刊案内 (2019年2月~2019年3月)(定価はすべて本体価格+税)

編・著・訳者	書名	判型	頁	本体価格	版元	発行日
加 納 和 寛	アドルフ・フォン・ ハルナックにおける 「信条」と「教義」 ー近代ドイツ・プロテ スタンティズムのー断面	A 5	352	4,600	教 文 館	2/25
長 谷 川 勝 政	英学者 本多増次郎の生涯 ー信仰・博愛と広報外交	A 5	490	4,900	〃	2/25
日 本 キ リ ス ト 教 団 出 版 局 編	説教黙想アレテア特別増刊号 死 に 勝 つ 慰 め ー 葬 儀 説 教 を い か に 語 る か	B 5	128	1,852	日本キリスト 教団出版局	2/12
小 泉 健	十 字 架 へ の 道 ー受難節の黙想と祈り	四六	120	1,200	〃	2/20
原敬子、角田佑一編著	2018年上智大学神学部 夏期神学講習会講演集 「若者」と歩む教会の希望 ー一次世代に福音 を伝えるために	四六	198	1,800	〃	2/25
佐 原 光 児	希 望 す る 力 ー生き方を問う聖書	A 5	156	1,300	新教出版社	2/25
後 藤 田 典 子	新 た な 約 束 ー新約聖書に学ぶ神の約束	A 5	134	900	〃	2/25
滝沢克己協会編	今を生きる滝沢克己 ー生誕110年記念論集	四六	295	3,200	〃	2/25
大 井 満 編	日本ケズイック・コンベン ション説教集2018 聖霊に満たされて歩む	四六	160	1,300	ヨ ベ ル	2/1
上 沼 昌 雄	怒 っ て 神 に ーヨナの怒りに触れて	新書	224	1,100	〃	2/25
鎌 野 善 三	3 分 間 の グ ッ ド ニ ュ ー ス 「 歴 史 」	A 5	272	1,600	〃	2/25
J. D. G. ダ ン 著 浅 野 淳 博 訳	使 徒 パ ウ ロ の 神 学	A 5	960	6,300	教 文 館	3/30
金 承 哲	遠藤周作と探偵小説 ー痕跡と追跡の文学	A 5	366	3,200	〃	3/30
佐 々 木 哲 夫	命 の フ ァ イ ル ーロボット・テロ・不 条理・来世と旧約聖書	A 5	206	3,000	〃	3/30
青山学院大学総合 研究所キリスト 教文化研究所編	贖罪信仰の社会的影響 ー旧約から現 代の法制化へ	四六	242	2,000	〃	3/30
山根道公編・解題 若松英輔解説	井上洋治著作選集 別巻 井上洋治全詩集 ーイエスの見たい 青空が見たい	A 5	252	2,500	日本キリスト 教団出版局	3/1

日本図書館協会選定図書

総説キリスト教 Christianity: An Introduction

はじめての人のためのキリスト教ガイド



アリストアー・マクグラス:著 本多峰子:訳
■オンデマンド版・A5判・上製・728頁・10,000円(+税)

スタンダードな論説に定評があり、日本においても教派を越えて親しまれている英国の神学者マクグラスが著したキリスト教ガイド。初版根強い人気からオンデマンド版で再版。この一冊でキリスト教が概観できる、教会、学校には備えておきたい名著。

初めてキリスト教に触れる方にも、またもう一度自分の知識を整理しようとする方にもお勧めします。通読して視野を広げるのにも、基礎「神学」力を高めるのにも、また事典的に項目を調べて知識を深めるのにも最適な一書です。
■中道基夫(関西学院大学神学部長)

キリスト教思想史入門

歴史神学概説

Historical Theology



アリストアー・マクグラス 著
神代真砂実、関川泰寛 訳
■オンデマンド版・A5判・726頁・10,000円(+税)

キリスト教史を語る上で定評のある一冊。「教父時代」「中世とルネサンスの時代」「宗教改革とそれ以後の時代」「近・現代」の四つの時代に区分し、各時代の概説、その時代に関わる用語と、鍵となる神学者から、その時代の神学をバランスよく解説。さらには読者に対する問いも付しており、読者をさらなる研究へと招く。

新装増補改訂版

神学のよろこび

はじめての人のための「キリスト教神学」ガイド

Theology The Basics



アリストアー・マクグラス 著
芳賀力 訳
■四六判・並製・450頁・4,000円(+税)

キリスト教神学の本格的な入門書として教派を問わず広く読まれている一冊。使徒信条の告白に沿って、歴代のキリスト者たちが、この信仰をどう形作ってきたのかをわかりやすく解説。教会が信じている「信仰」とは何かを、自分の言葉で説明できるように力づける。章ごとに付してある読者に対する問いも、読者に「神学することへのはじめの一步を切り開く。教会の足腰を鍛えるために、信徒とともに読みたい。

キリスト新聞社 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9-1 TEL 03-5579-2432 FAX 03-5579-2433

一麦出版社

http://www.ichibaku.co.jp/
携帯サイト mobile.ichibaku.co.jp/



Ichibaku Shuppansha Publishing Co., Ltd.



ドナルド・K. マッキム
原田浩司 訳
**宗教改革の問い、
宗教改革の答え**
95の重要な鍵となる出来事・人物・論点
A5判 定価(本体2,000+税)円
ISBN978-4-86235-106-9

プロテスタントの改革の疑問を簡潔・明快に解き明かす。「宗教改革」を理解するための最良の入門書。



オリヴィエ・ミエ
菊地信光 訳
改革派教会
A5判 定価(本体2,000+税)円
ISBN978-4-86235-107-6

ひとつの教派として確立していく過程を信仰告白・教会規則をもとに紐解く。



バーゼル・ホール
堀江洋文 訳・解説
**ヨハネス・ア・ラスコ
1499-1560**
イングランド宗教改革のポーランド人
四六判変型 定価(本体2,200+税)円
ISBN978-4-86235-095-6

カルヴァンが理想とした長老制による教会訓練、国家権力と関わりのないかたちの教会として最初の「教会規程」を執筆。

ヴァルフェルト・デ・グレーフ
菊地信光 訳
ジャン・カルヴァン
その働きと著作



A5判 定価(本体6,800+税)円
ISBN978-4-86235-103-8

カルヴァンに関連する情報をみごとに収集・整理し、16世紀の文脈でその姿を浮かびあがらせた。

サドレート×カルヴァン
石引正志 訳・解説
**ジュネーブの議会と人びと
に宛てたヤコブ・サドレ
ト枢機卿の手紙×ジャン・
カルヴァンの返答**



宗教改革の焦点 01
A5判 定価(本体2,200+税)円
ISBN978-4-86235-011-6

各々の主張が簡潔、明解に示された、論点を理解するための第一級の史料。

渡辺信夫
カルヴァンの教会論(増補改訂版)
菊判 定価(本体4,200+税)円 86325-017-8

日本カルヴィニスト協会編
カルヴァンとカルヴィニズム
A5判 定価(本体5,600+税)円 86325-070-3

フォード・ルイス・バトルズ/金田・高崎共訳
「キリスト教綱要」を読む人のために
菊判 定価(本体3,800+税)円 86325-066-6



500 years of Reformation



書店名	郵便番号	住所	電話	ファックス	URL	メール	郵便振替
北海道キリスト教書店	060-0807	札幌市北区北七条西6丁目	011-737-1721	011-747-5979	http://www.jp-shop.com	sasaki@jp-shop.com	02770-2-56520
善隣館書店	020-0025	盛岡市大沢川原3-2-37	019-654-1216	共用		zeninkan_syoten_0530@yahoo.co.jp	02350-0-874
仙台キリスト教書店	980-0012	仙台市青葉区1-36 敷島センター・1701F	022-223-2736	共用		fqwk524@ybb.ne.jp	02230-0-31152
恵泉書房	260-0021	千葉県船橋区2-2 榎ヶ丘センタービル	043-238-1224	043-247-3072	http://www.keisen.christian.jp	keisen@vesta.ocn.ne.jp	00120-9-43619
教文館	104-0061	東京都中央区銀座4-5-1	03-3561-8448	03-3563-1288	http://www.kyobunkwan.co.jp	xbooks@kyobunkwan.co.jp	00120-2-11357
聖公書店	350-1331	埼玉県狭山市新狭山1-5-1	042-900-2771	042-900-2722		seikoshoten@bible.or.jp	00160-2-18410
アバコ・ブックセンター	169-0051	東京都新宿区西早稲田2-3-18	03-3203-4121	03-3203-4186	http://www.avaco.info	avaco@avaco.info	00130-0-96398
待農堂	167-0053	東京都杉並区西荻南3-16-1	03-3333-5778	共用	http://taisindo-books.jimbo.com/	taisindo@icom.home.ne.jp	00110-8-95827
バイブルハウス南青山	107-0062	東京都港区南青山5-10-2	03-6418-9230	03-6418-5231	http://biblehouse.jp	biblehouse@bible.or.jp	00160-2-18410
横浜キリスト教書店	231-0063	横浜市中区花咲町3-96	045-241-3820	045-241-5881	http://www.biglobe.jp/~yohatara-cbs/index.html	sksch@mva.biglobe.ne.jp	00250-4-2512
清光書店	951-8114	新潟市営所通一番町313	025-229-0656	共用			00560-8-51419
静岡聖文舎	420-0866	静岡市葵区西草深町20-26	054-260-6644	054-260-5612	http://www.s-seibun.co.jp/	info@s-seibun.co.jp	00810-8-26558
名古屋聖文舎	464-0850	名古屋市千種区今池5-28-4	052-741-2416	052-733-2648	http://nagoya-seibunshita.cococan.jp/	nagoya-seibunshita@nifty.com	00810-5-14073
京都ヨルダン社	602-0854	京都市上京区荒神口通河原町東入ル	075-211-6675	075-211-2834	http://web.kyoto-net.or.jp/people/kjordan/	kjordan@mbox.kyoto-net.or.jp	01010-2-594
大阪キリスト教書店	530-0002	大阪市北区曾根崎新地2-1-15	06-6345-2928	06-6345-2187	http://osakacbs.web.fc2.com/	ochrbook@river.ocn.ne.jp	00990-3-43009
バイブルハウスびびるすの森	591-8041	堺市北区東雲東町1-1-16	072-257-0909	072-253-6132		sakai-jbs@bible.or.jp	00160-2-18410
神戸キリスト教書店	650-0021	神戸市中央区三宮町3-9-18三陽ビル2F	078-331-7569	共用		kobe-kirisyo@mse.biglobe.ne.jp	01150-7-45120
広島聖文舎	730-0841	広島市中区舟入町12-7	082-208-0022	082-208-0177		hseibun0951@yahoo.co.jp	01360-4-1958
徳島キリスト教書店	770-0052	徳島市中島町3-57-1	088-633-6335	共用	http://www6.ocn.ne.jp/~tcs/	tokushoten@shirt.ocn.ne.jp	01630-5-37119
松山キリスト教書店	790-0804	松山市中一町1-23	089-921-5519	089-921-5413	http://www.geocities.jp/masujama_1007/mexim	sksch@dokidoki.ne.jp	01650-1-2120
北九州キリスト教ブックセンター	802-0022	北九州小倉北区上雷野5-2-18	093-967-0321	共用		kbookcenter@bible.or.jp	01780-4-39965
新生館	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-7-7	092-712-6123	092-781-5484	http://www.sinseikan.jp/	info@sinseikan.jp	01750-5-10932
キリスト教書店ハレルヤ	862-0971	熊本市大江4-20-23	096-372-3503	共用		k-haleruya@bible.or.jp	00160-2-18410
沖繩キリスト教書店	903-0207	沖縄県読谷郡読谷777 沖縄キリスト教院内	098-943-7221	共用	http://www.okinawacbs.com/	okinawacbs@yahoo.co.jp	020308-1283

※一般書店関係の方は 日キ販営業部 TEL 03-3260-5670 にご連絡ください。

全国のキリスト教書店員が選んだ いちばん読んでほしい本

キリスト教書店大賞2019

主催 キリスト教出版販売協会



うつくしいもの
八木重吉 信仰詩集
八木重吉 詩
おちあいまちこ 写真
1,200円＋税
日本キリスト教団出版局

恵泉書房 山田秀子さん
八木重吉の心にみる詩と美しい写真。プレゼントにもいいですね。



2018年1月～12月に
出版されたキリスト教書の中から
全国のキリスト教書店員が
大賞を選出します。

ノミネート 10 作品

〈タイトル50音順〉



聖書入門
世界一ゆるい
聖書入門
上馬キリスト教会 著
1,300円＋税
講談社

CLC BOOKSお茶の水店 内藤優祐さん
SNSからの書籍化にキリスト教会が参入した記念すべき一冊。一般社会とキリスト教界、双方に大きなインパクトを与えた。



**1分間の黙想
心からの祈り**
カレン・ムーア 著
日本聖書協会 訳
1,800円＋税
日本聖書協会

ライフセンター新潟書店 永井美智代さん
日毎短く1ページに、聖句、祈り、先進の祈りやことばが短くまとまっています。マンネリ化しがちな祈りを活めてくれます。



**55歳からの
キリスト教入門**
イエスと歩く道
小島誠志 著
1,200円＋税
日本キリスト教団出版局

松山キリスト教書店 平岡光司さん
教会の信徒の平均年齢が高くなる中、新しく信仰を求める人も多くいる。そんな求道者にもテキストとして最適な本。



聖書 聖書協会共同訳 引照・注付き(右)
特価 4,800円＋税
定価 5,300円＋税
旧約聖書続編付き
引照・注付き(左)
特価 5,400円＋税
定価 6,100円＋税
日本聖書協会

教文館 吉園選也さん
満を持しての新翻訳。訳について賛否はあるが、概ね好評な印象。一教派の訳でなく、エキキュメンカルな点もポイントが高い。



**和解への
祈り**
桃井和馬 写真・文
2,000円＋税 日本キリスト教団出版局

北海道キリスト教書店 太田千代さん
桃井さんの写真の力と、神の和解を希求する強い願いが祈りとなって全篇を覆っているのが感じられる、祈りの書き言葉。



わたしの信仰
キリスト者として行動する
アンゲラ・メルケル 著
フルカー・レージング 編
松永美穂 訳
2,300円＋税
新教出版社

善隣館書店 大森紀代美さん
メルケル独自の難民に向けられたまなざしは寛容で、その決断力や行動力の秘密がこの1冊で知ることができる。



始まりのことば
聖書と共に歩む日々366
片柳弘史 著
900円＋税
教文館

徳島キリスト教書店 都築藤子さん
聖書のことばと優しい文章が神様の愛を語ってくれ、神様に心を向けることができます。手元に置いてふっと開いてもらいたい本。



**わたしはよるこんで
歳をとりたい**
エルク・ツィンク 著
興賢伍郎 訳
1,200円＋税
こぐま社

北九州キリスト教ブックセンター 原口樹子さん
平場な言葉にぴったりの写真が素敵。加齢を自然に、肯定的に、そして神への信頼に生きる生き方へと導いてくれる本です。

連動企画 ノミネート作品から選ぶ「いいね!」大賞

フェイスブックで「いいね!」をつけて、ノミネート作品の中から好きな本に投票しよう!
期日までに最も多く「いいね!」された作品が、読者が選ぶ「いいね!」大賞!

投票▶2019年6月30日まで 発表▶2019年7月上旬

*アルバムに登録されたノミネート作品別の記事に対する「いいね!」1回を1投票とカウントします
*投票にはフェイスブックのアカウントが必要です *投票は1作品に限らず、複数の作品にできます

<https://www.facebook.com/christianbookoftheyear/>

福音と世界

2019年6月号

特集「差別」再考

寄稿者 好井裕明、風間孝、三部倫子
矢吹康夫、李恩宇、堀江有里、堀あきこ

好評連載 バビロンの路上で *Condemned as a Sinner of a Preacher Man* (マニエル・ヤン)、神の酒 (石井光太)、テメテ書 (辻学)、福音書記者たちの饗宴 (松本あずさ)、遺跡が語る聖書の世界 (長谷川修二)、わたしはロックがわからない (山口政隆)、聖書とわたし (窪美澄) ほか

A5判・本体 588円・〒70円
定期購読についてはお気軽にご相談下さい。

新教出版社 TEL: 03-3260-6148
Email: sales@shinkyō-pb.com

編集室から



私の職場では毎朝礼拝がある。学校を終えて一般の出版社に入り、その後、キリスト教出版社に転職した私にとって、毎朝の礼拝は新鮮だったし、今も大切で、うれしい。今年の受難節は毎朝ヘブライ書を聴き続けた。ヘブライ書はとも苦手な書であったけれど、毎朝少しずつ聴くことで、自分なりにわかるようになった気がする。好きな書になってきた気がする。

「まして、永遠の霊によって、御自身をきずのないものとして神に献げられたキリストの血は、わたしたちの良心を死んだ業から清めて、生ける神を礼拝するようにさせないでしょうか。」(ヘブライ九・二四)

予告

本のひろば

2019年7月号

本・批評と紹介

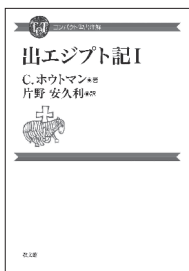
H・J・クラウク著『初期キリスト教の宗教的背景——古代ギリシア・ローマの宗教世界 上・下』、春名純人著『キリスト教哲学序論』、ヒツポリユトス著『キリスト教教父著作集19 全異端反駁』、上林順一郎著『なみだ流したその後』他

例えばこの御言葉が、ちょうどその時読んでいた具正謨『論集——典礼と秘跡』(教友社、二〇一二年)と響き合い、迫ってきた。本書の著者は、イエズス会司祭であり上智大学で秘跡神学を講じている方だが、プロテスタントにとっても得るところが大きく、聖餐の神学を学ぶうえで必読の書であると思う。

「新約における犠牲は、三位の神の愛による自己授与の行為にプライオリティがあることを忘れてはいけない。父である神は人類への愛のゆえに、ご自分の子を世に与えたのである。御子は父と世に対する愛のゆえに自分の命を捧げたのである」(本書四五頁)

愛に基づく神の自己授与。ヘブライ書も聖餐も受難節も、それを知り賛美し、応答することにつながっている。(土肥)

聖書の学びと
信仰の集いに最適!



コンパクト聖書注解 出エジプト記Ⅰ

C・ホウトマン 片野安久利訳 ● 四六判・232頁・本体3,500円

エジプト脱出の大きなドラマに読者を誘い、まるで演劇を観ているように登場人物の役割や根底にある神の意図を臨場感をもって浮かび上がらせる。小説的な魅力を併せもつユニークな注解!

聖書の植物よもやま話

堀内昭 ● 四六判・268頁・本体1,800円

聖書に出てくる植物を化学者ならではの視点で紹介する楽しいエッセイ。邦訳聖書の訳語の変遷に触れつつ、現地の植生と薬用成分、暮らしの中での利用法、仏教・神道との関わりまで、はばひろく語る!

好評既刊

ハーブ祝祭暦 暮らしを彩る四季のハーバル

北野佐久子 ● 四六判・242頁・本体1,800円

クリスマスやイースター、祝祭の日に欠かせない食べ物や飾り。それらに使われるハーブを取り上げ、欧州の人々が四季をいかに楽しみ、味わってきたかを知ることができる一冊。

オンデマンド版発売

「改訂新版」

新約聖書ギリシア語初歩

土岐健治 ● A5判・240頁・本体3,800円

長年ギリシア語を教えてきた著者。その語学教授の経験と、ギリシア語の言語学的な性格を正確にさかのぼった、より記憶しやすい各種変化の系統付けによつて、新しく整理し直した学習書。



重版出来

若者と生きる教会 伝道・教会教育・信仰継承

大嶋重徳 ● A5判・114頁・本体1,200円

教派を超えて活動する著者による教会を活性化させるための提言!

協力と抵抗の内面史

5月24日

富坂キリスト教センター編

戦時下を生きたキリスト者たちの研究

「戦争協力者」か「抵抗者」かといった一面的裁断を排し、当事者の矛盾葛藤を検証することにより、追隨・加担・協力、沈黙・拒否・抵抗の諸相を重層的に跡づけようとする。日本人キリスト者のみならず植民地下の現地のキリスト者にも着目する。教会史への新たな視角。

既刊 土肥昭夫

天皇とキリスト

近現代天皇制とキリスト教の教会史的考察

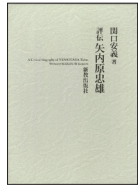
◆ A5判・本体4700円

評伝 矢内原忠雄

大反響

関口安義 (都留文科大学名誉教授)

1100枚の大作!



実証的経済学者として帝国日本の植民地経営を批判的に分析し、軍国主義と対決して野に退き、独立伝道者となり、戦後は東大総長として再建日本の精神的指導に挺身した無教会キリスト者。その激動の生涯を綿密な調査と膨大な資料を基に描きあげた矢内原評伝の決定版。

◆ A5判・本体8000円

橋をつくるために 現代世界の諸問題をめぐる対話

教皇フランシスコ、ドミニック・ヴォルトン／戸口民也訳

戦争、貧困、環境、難民、アイデンティティと伝統、異なる者同士のコミュニケーション、教会のあり方などをめぐり、著名な社会学者が1年間12回にわたりに行った興味尽きないインタビュー。

◆ 四六判・本体2600円



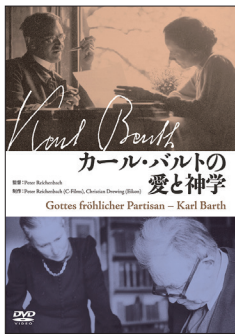
一九五七年七月七日 第三種郵便物認可
二〇一九年一月一日発行(毎月一回一日発行)
本のひろば 第七七八号 二〇一九年六月号

発行所 〒163-0814 東京都新宿区新小川町9-1 一般財団法人キリスト教文書センター
電話〇三・三三六・六一五二〇 振替〇一七〇一五一六一七九
発行人 本村利春 編集人 土肥研一 印刷所 佃平河工業社
発売所 日本キリスト教書販売株式会社 電話〇三・三三六・〇一五六七〇

定価七八円(税抜七二円) 70円
一年分一三〇〇円(送料共)

カール・バルトの愛と神学

没後50年記念 DVD 作品



ペーター・ライヘンバッハ制作 (スイス/ドイツ 2017年)
バルトの生涯を自身の証言や、孫たちをはじめ関係者のインタビューで辿り、神学の同時代史的関連を鮮明にする。助手キルシュバウムとの恋愛も正面から取り上げ、神学と実人生との関係に光を当てる。福嶋揚氏のエッセイ等を収録した小冊子付き。◆ DVD 1枚+ブックレット 本体 3700円